

かりん在宅クリニック

田中亮嗣

理事長



☎ 03-4400-4678

🌐 karin-clinic.jp

🏠 東京都墨田区京島一丁目1-1
イーストコア曳舟一番館216号室

ビジョン

当院の理念は“患者さんの「自分らしく生きる」を支えたい”です。墨田区、近隣区の皆様が安心して在宅医療を受けられる地域にすることが当院の使命だと思っています。

東京都墨田区を拠点に、台東区・荒川区など近隣区を中心として訪問診療を行う、医療法人社団 善豊会 かりん在宅クリニック。田中亮嗣理事長は、末期がんをはじめとする重症度の高い患者にも対応し、質の高い緩和ケアと多職種連携によって、自宅で最期まで安心して暮らせる在宅医療の実現を目指しています。診療で大切にしているのは、医療者の考えを一方的に押しつけるのではなく、患者本人が望む生活や生き方を共に考え、その選択に寄り添うことです。田中亮嗣理事長に、緩和ケアに取り組む姿勢、多職種間の情報共有、自宅看取りを支えるチーム医療、「断らない医療」を掲げる理由、地域の医療インフラを目指す今後の展望について伺いました(2026年6月取材)。

墨田区・台東区・荒川区など近隣区の在宅医療を支える「断らない医療」と地域連携

かりん在宅クリニックは、今後どのような規模になっていると想定されていますか？

質の高い医療を安定して提供し続けるためには、組織の拡大が不可欠です。規模が大きくなっても医療の質を担保し続けるために、スタッフの教育システムを整備し、ルールの共通化を進めていくことが私の重要な使命だと捉えています。

10年後には、クリニックとしてどのような存在になっていたたいとお考えですか？

地域を支える「大きなインフラ」のような存在になっていたたいですね。各地域には、重症度の高い患者さんを絶対に断らず、かつ研修医の受け入れなど教育にも力を入れている「中核病院」と呼ばれる存在があります。私たちは、在宅医療の分野でそうした基盤となる存在になることが求められていると感じています。

現在拠点としている墨田区はもちろん、台東区や荒川区、さらには近隣の江東区や葛飾区、足立区といったエリアにも医療をお届けし、「あそこをお願いすれば安心だ」と思ってもらえるよう、「断らない医療」を貫いていきたいと考えています。そしてゆくゆくは、私たちが実践しているこの在宅医療の形を少しずつ全国へも広げ、どこに住んでいても質の高いケアが受けられる社会づくりに貢献していきたいという想いを抱いています。



クリニック内観

(上：2025年2月・下：2026年6月)

教育という面でも、すでに地域に向けた取り組みを始められていますよね。

はい。私たちが培ってきた経験やノウハウを地域に還元していくため、2024年は墨田区役所で地域の住民の方や医療従事者に向けた講演を行いました。またクリニック主催で地域の医療従事者を対象とした勉強会を全5回にわたり開催しています。今年はさらに門戸を広げ、近隣の病院関係者様や訪問看護師さん、ケアマネジャーさんなどにもお声がけをして、私たちから出向く形での勉強会を計画しています。地域全体の在宅医療の質を高めるために、こうしたアウトプットを今後も積極的に行っていきたいですね。



クリニック主催による勉強会

これから在宅医療を志す方や、当クリニックへの参画を検討されている方へメッセージをお願いします。

在宅医療の必要性は今後さらに高まっていきます。その中で、ご自身がしっかりと成長できる環境を選ぶことが大切です。当クリニックでは今後のスケール化を見据え、クオリティを担保するためのスタッフ教育に非常に力を入れています。組織の成長に合わせて、ご自身のスキルも存分に磨ける環境を用意しています。ぜひ私たちと一緒に質の高い在宅医療を作り上げていきましょう。



医師4名でのカンファレンス

最後に地域住民の皆様へメッセージをお願いします。

私たちは、患者さんがご自宅で最期まで「自分らしく生きる」ことを最大限に支えたいと考えています。ご自身がどのような生活を送りたいかという選択を何よりも尊重し、残された人生の質（QOL）を高めることにコミットしています。質の高い緩和ケアと多職種連携による確かなチーム医療で、心身ともに安楽な療養生活を全力でサポートいたします。在宅医療が必要になった際はいつでも私たちに相談ください。



漫画も掲載しています。全文はQRコードからアクセスください ↓↓↓

